



## 2020年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年9月3日

上場会社名 不二電機工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6654 URL <http://www.fujidk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八木 達史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理部門統括 総務部長 (氏名) 下村 徳子

TEL 075-221-7978

四半期報告書提出予定日 2019年9月10日

配当支払開始予定日

2019年10月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年1月期第2四半期の業績(2019年2月1日～2019年7月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第2四半期	1,903	4.5	138	34.4	154	30.0	119	20.5
2019年1月期第2四半期	1,993	5.1	210	73.1	220	65.3	150	29.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第2四半期	20.21	20.13
2019年1月期第2四半期	25.47	25.37

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年1月期第2四半期	11,115	10,405	93.4	1,752.84
2019年1月期	11,097	10,346	93.0	1,746.60

(参考)自己資本 2020年1月期第2四半期 10,380百万円 2019年1月期 10,321百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期		16.00		16.00	32.00
2020年1月期		16.00			
2020年1月期(予想)				16.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年1月期の業績予想(2019年2月1日～2020年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	10.0	405	7.8	420	6.5	265	4.2	45.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年1月期2Q	6,669,000 株	2019年1月期	6,669,000 株
期末自己株式数	2020年1月期2Q	746,930 株	2019年1月期	759,630 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年1月期2Q	5,915,134 株	2019年1月期2Q	5,903,252 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2.「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明資料は2019年9月4日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(追加情報)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費が持ち直し、企業収益も底固く推移するなど、緩やかな景気の回復基調が続きました。

今後も、雇用・所得環境の改善により、景気の回復基調が続くと見込んでおりますが、海外における通商問題の長期化による世界経済の減速懸念など、その先行きに不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、当社は、国内では電力や一般産業、電鉄・車両業界、海外では東南アジアや中近東各国を重点に営業活動を行った結果、鉄道変電設備向けI/Oインターフェイスユニットや国内外の受変電設備向け試験用端子などが増加しましたが、端子台をはじめとする電力向け製品や太陽光発電向け接続箱などが減少したことから、当第2四半期累計期間の売上高は1,903百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

利益面におきましては、売上高が前年同期を下回り、営業利益は138百万円(前年同期比34.4%減)、経常利益は154百万円(前年同期比30.0%減)となりました。四半期純利益は、特別利益におきまして厚生年金基金解散損失引当金戻入額12百万円が発生しましたが、前年同期比30百万円減の119百万円(前年同期比20.5%減)となりました。

売上の状況は次のとおりであります。

なお、当社は、電気制御機器の製造加工及び販売事業のみであるため、売上の状況につきましては、製品分類ごとに記載しております。

## (制御用開閉器)

鉄道車両用切替スイッチや車掌スイッチパネルは増加しましたが、海外向けの補助スイッチが伸びず、売上高は532百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

## (接続機器)

国内外の受変電設備向けに試験用端子は増加しましたが、サージアブソーバ端子台や断路端子台が低調であったことから、売上高は725百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

## (表示灯・表示器)

海外向けの故障表示器など、各種表示器が増加しましたが、国内向けの故障表示器や交通信号機用表示灯が低調であったことから、売上高は286百万円(前年同期比3.6%減)となりました。

## (電子応用機器)

鉄道変電設備向けにI/Oインターフェイスユニットが増加したほか、配電自動化子局用表示モジュールやアナンシェータリレーも好調であったことから、売上高は281百万円(前年同期比7.2%増)となりました。

## (仕入販売等)

太陽光発電向け接続箱の販売が減少したことから、売上高は77百万円(前年同期比37.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末比17百万円増加し、11,115百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少26百万円、有価証券の増加200百万円、仕掛品の増加40百万円及び投資有価証券の減少174百万円等によるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末比40百万円減少し、710百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加10百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等の減少79百万円及び退職給付引当金の増加15百万円等によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末比58百万円増加し、10,405百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加24百万円及びその他有価証券評価差額金の増加17百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ26百万円減少し、754百万円(前年同四半期は735百万円)となりました。

各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動による資金の増加は、174百万円(前年同期比59.9%減)となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益164百万円、減価償却費151百万円、売上債権の減少額26百万円等であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額100百万円及び法人税等の支払額55百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動による資金の減少は、105百万円(前年同期比67.0%減)となりました。主な要因は、金型投資を含む有形固定資産の取得による支出90百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動による資金の減少は、94百万円(前年同期比0.4%減)となりました。主な要因は、配当金の支払額94百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年1月期の業績予想につきましては、2019年3月7日付「平成31年1月期 決算短信(非連結)」にて発表致しました通期の業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年7月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,280,591	4,254,285
受取手形及び売掛金	1,157,186	1,151,766
電子記録債権	316,874	295,554
有価証券	—	200,500
商品	500	—
製品	135,712	158,676
仕掛品	338,426	378,588
原材料	414,791	452,970
その他	37,701	54,585
流動資産合計	6,681,785	6,946,928
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	1,913,842	1,864,904
土地	1,347,627	1,347,627
その他(純額)	368,693	338,526
有形固定資産合計	3,630,163	3,551,058
無形固定資産	19,831	26,579
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	700,967	526,343
その他	64,755	64,269
投資その他の資産合計	765,723	590,612
固定資産合計	4,415,718	4,168,250
資産合計	11,097,503	11,115,178

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	118,971	129,751
短期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	68,894	67,143
賞与引当金	63,560	57,708
役員賞与引当金	3,860	—
製品保証引当金	25,562	39,289
その他	218,923	196,910
流動負債合計	619,771	610,803
固定負債		
退職給付引当金	48,563	63,778
厚生年金基金解散損失引当金	48,140	—
その他	34,287	35,452
固定負債合計	130,990	99,231
負債合計	750,762	710,034
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,087,250	1,087,250
資本剰余金	1,707,822	1,710,519
利益剰余金	8,171,479	8,196,456
自己株式	△804,521	△791,071
株主資本合計	10,162,030	10,203,154
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	159,283	177,273
評価・換算差額等合計	159,283	177,273
新株予約権	25,427	24,716
純資産合計	10,346,741	10,405,144
負債純資産合計	11,097,503	11,115,178

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
売上高	1,993,193	1,903,430
売上原価	1,242,618	1,226,706
売上総利益	750,575	676,723
販売費及び一般管理費	540,088	538,685
営業利益	210,487	138,037
営業外収益		
受取利息	1,235	1,114
受取配当金	5,785	6,783
助成金収入	—	6,417
その他	4,563	2,236
営業外収益合計	11,585	16,551
営業外費用		
支払利息	543	543
投資事業組合運用損	1,383	—
その他	0	38
営業外費用合計	1,928	582
経常利益	220,143	154,006
特別利益		
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	—	12,028
特別利益合計	—	12,028
特別損失		
固定資産除却損	1,464	1,197
特別損失合計	1,464	1,197
税引前四半期純利益	218,679	164,838
法人税等	68,305	45,311
四半期純利益	150,373	119,527

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	218,679	164,838
減価償却費	125,667	151,536
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,710	△3,860
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,231	15,215
受取利息及び受取配当金	△7,021	△7,898
支払利息	543	543
厚生年金基金解散損失引当金の増加額 (△は減少)	—	△48,140
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	—	13,727
投資事業組合運用損益 (△は益)	1,383	—
助成金収入	—	△6,417
有形固定資産除却損	1,464	1,197
売上債権の増減額 (△は増加)	83,760	26,739
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△17,930	△100,805
仕入債務の増減額 (△は減少)	△31,677	10,779
その他	121,421	△927
小計	497,769	216,528
利息及び配当金の受取額	7,134	8,043
利息の支払額	△566	△567
助成金の受取額	—	6,417
法人税等の支払額	△68,610	△55,816
営業活動によるキャッシュ・フロー	435,727	174,605
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,300,000	△3,400,000
定期預金の払戻による収入	3,100,000	3,400,000
有形固定資産の取得による支出	△116,922	△90,283
無形固定資産の取得による支出	△2,201	△15,199
その他	—	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△319,123	△105,433
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△10	—
配当金の支払額	△94,479	△94,065
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,490	△94,065
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,026	△1,413
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	21,086	△26,306
現金及び現金同等物の期首残高	714,637	780,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	735,724	754,285

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社は、電気制御機器の製造加工及び販売事業のみであるため、セグメントの記載を省略しております。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社は、電気制御機器の製造加工及び販売事業のみであるため、製品分類別に記載しております。

[生産実績]

当第2四半期累計期間の生産実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品分類	当第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	前年同期比 (%)
制御用開閉器 (千円)	550,891	99.4
接続機器 (千円)	715,273	86.4
表示灯・表示器 (千円)	343,747	113.7
電子応用機器 (千円)	301,424	127.8
合計 (千円)	1,911,336	99.5

(注) 1. 金額は販売価格で表示しております。

2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

[受注状況]

当第2四半期累計期間の受注状況を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品分類	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御用開閉器	552,621	103.7	215,251	128.5
接続機器	748,721	99.4	160,523	121.3
表示灯・表示器	314,899	97.1	107,121	111.4
電子応用機器	282,855	90.7	148,515	101.3
仕入販売等	136,918	—	63,835	—
合計	2,036,015	105.2	695,247	127.3

(注) 1. 金額は販売価格で表示しております。

2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

## [販売実績]

① 当第2四半期累計期間の販売実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品分類	当第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	前年同期比 (%)
制御用開閉器 (千円)	532,685	99.0
接続機器 (千円)	725,424	94.1
表示灯・表示器 (千円)	286,597	96.4
電子応用機器 (千円)	281,037	107.2
仕入販売等 (千円)	77,686	62.4
合計 (千円)	1,903,430	95.5

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

② 当第2四半期累計期間の国内及び海外販売実績は、次のとおりであります。

販売形態	当第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	前年同期比 (%)
国内販売 (千円)	1,724,520	94.6
海外販売 (千円)	178,910	105.3
合計 (千円)	1,903,430	95.5

(注) 1. 金額は販売価格で表示しております。

2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

3. 海外販売は輸出向け商社への販売及び直接輸出の合計であります。

4. 当第2四半期累計期間の海外販売の割合は、次のとおりであります。

なお、海外販売実績は、総販売実績の9.4%となっております。

販路	当第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)
東南アジア	124,012	69.3
中近東	28,588	16.0
中国	25,529	14.3
欧州	495	0.3
米国	284	0.1
合計	178,910	100.0

以 上